



平成21年11月11日

会 社 名 株式会社 栗本鐵工所
 代 表 者 名 代表取締役 社長 福井 秀明
 (コード番号 5602 東証・大証第一部)
 問 合 せ 先 執行役員 財務部長 小島 眞也
 (TEL. 06-6538-7724)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成21年8月11日に公表しました業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

- 記 -

1. 連結業績予想数値の修正

平成22年3月期 第2四半期連結累計期間 連結業績予想数値の修正 (平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (平成21年8月11日発表)	54,700	500	100	△ 3,000	△ 22.69
今回修正予想 (B)	57,840	2,290	1,640	△ 1,890	△ 14.29
増減額 (B-A)	3,140	1,790	1,540	1,110	
増減率 (%)	5.7	358.0	-	-	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	67,867	△ 77	△ 378	△ 7,329	△ 57.23

平成22年3月期 通期 連結業績予想数値の修正 (平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (平成21年8月11日発表)	115,000	3,000	1,500	△ 1,500	△ 11.34
今回修正予想 (B)	117,000	4,000	2,800	△ 1,500	△ 11.34
増減額 (B-A)	2,000	1,000	1,300	0	
増減率 (%)	1.7	33.3	86.7	-	
(ご参考) 前期実績 (平成21年3月期)	158,563	2,589	1,524	△ 23,202	△ 178.27

2. 個別業績予想数値の修正

平成22年3月期 第2四半期累計期間 個別業績予想数値の修正 (平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (平成21年8月11日発表)	30,000	100	100	0	0.00
今回修正予想 (B)	29,800	1,360	1,300	△ 240	△ 1.82
増減額 (B-A)	△ 200	1,260	1,200	△ 240	
増減率 (%)	△ 0.7	-	-	-	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	31,115	118	348	△ 7,929	△ 61.91

平成22年3月期 通期 個別業績予想数値の修正 (平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (平成21年8月11日発表)	72,000	2,000	1,500	1,000	7.56
今回修正予想 (B)	73,000	2,500	2,000	1,000	7.56
増減額 (B-A)	1,000	500	500	0	
増減率 (%)	1.4	25.0	33.3	0.0	
(ご参考) 前期実績 (平成21年3月期)	71,127	1,896	1,685	△ 22,780	△ 175.03

3. 修正の理由

(1) 第2四半期連結累計期間連結業績予想修正の理由

売上高につきましては、鉄管部門におきまして管路更新の前倒し発注ほかがあったことにより前回発表数値を上回る予定であります。

営業利益、経常利益、四半期純利益につきましては、鉄管部門を中心に生産部門での利益改善が進んだこと、ならびに販売費、一般管理費をはじめとする各種コストの削減効果により前回発表数値を上回る予定であります。

(2) 通期連結業績予想修正の理由

売上高につきましては、建材部門で減少する一方で、鉄構部門において事業譲渡のタイミングが変更されたことにより増加する見込みであり、前回発表数値を上回る予定であります。

営業利益、経常利益につきましては第2四半期累計期間の利益改善効果により前回発表数値を上回る予定であります。

当期純利益につきましては、経常利益の増益見込分に対して有価証券評価損失、事業再編損失などの特別損失ほかを見込んでおり、前回発表数値から変更いたしておりません。

(3) 第2四半期個別累計期間個別業績予想修正の理由

売上高につきましては、鉄管部門で前倒し発注などにより増加致しましたが、鉄構、建材部門で減少となり前回発表数値を下回る予定であります。

営業利益、経常利益につきましては、鉄管部門における利益改善と販売費、一般管理費の削減効果により前回発表数値を上回る予定であります。

当期純利益につきましては、有価証券評価損失、事業再編損失などの特別損失を見込んでおり、前回発表数値を下回る予定であります。

(4) 通期個別業績予想修正の理由

売上高につきましては、鉄構部門において事業譲渡のタイミングが変更されたことにより、前回発表数値を上回る予定であります。

営業利益、経常利益につきましては、第2四半期累計期間の利益改善効果により前回発表数値を上回る予定であります。

当期純利益につきましては、経常利益の増益見込分に対して有価証券評価損失、事業再編損失などの特別損失ほかを見込んでおり、前回発表数値から変更いたしておりません。

以 上

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、最終の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。